

歴史的かなづかい① 答え

歴史的かなづかいを現代かなづかいに直す四つの法則]

- 1 語中の「は・ひ・ふ・へ・ほ・む」は「わ・い・う・え・お・ん」と直す。
「あはれ」→「あわれ」 「いへ」→「いえ」
- 2 「ゐ・ゑ・を・ち・づ」は「い・え・お・じ・ず」と直す。
「まゐる」→「まいる」 「こゑ」→「こえ」
- 3 「くわ・ぐわ」は「か・が」と直す。
「くわし」→「かし」 「いちぐわつ」→「いちがつ」
- 4 「う」が他の文字に続くとき、読み方が変わる。
① 「あう」→「おう」 あふぎ→あうぎ→おうぎ
② 「いう」→「ゆう」 いうげん→ゆうげん
③ 「えう」→「よう」 こうえふ→こうえう→こうよう
てふ てぶ てう てうち

一 線部分の読み方を現代かなづかいで書こう。

- 1 いづれもいづれも晴れ晴れしい。
- 2 田んぼのくわくわし。
- 3 あうぎ的。
- 4 初詣まゐる。
- 5 もう十二ぐわ月だ。
- 6 もう少しただなのに。をしな。
- 7 命にかへ取るまかし。
- 8 願はくは、
- 9 思ひつる
- 10 ものぐるほしけれ。

1	いづれもいづれも
2	かかし
3	おうぎ
4	まいる
5	がつ
6	おしな
7	かえ
8	ねがわく
9	おもつる
10	ものぐるおしけれ

歴史的かなづかい②答え

【問題】 — 線部分の読み方をひらがなで書こう。

- 1 この果物は不思議なあじがする。
- 2 古いいどをのぞきこんだ。
- 3 秋にはキンモクセイのかおりがする。
- 4 けふは朝早く学校に行きます。
- 5 遠くからオオカミのこえが聞こえる。
- 6 ぼくの友達をよくわらふので明るくなる。
- 7 春はあけぼの。ようよう白くなりゆく…
- 8 村のはずれにはほこらがある。
- 9 新年のあいさつをもうし上げます。
- 10 夕方の景色、いとあはれなり。

1	あじ (味)
2	いど (井戸)
3	かおり (香り)
4	きょう (今日)
5	こえ (声)
6	わらう (笑う)
7	ようよう (だんだん) (はだか)
8	はずれ (外れ)
9	もうし (申し)
10	あわれ (哀れ)

歴史的かなづかい③ 答え

【問題】 — 線部分の読み方を現代かなづかいで書こう。

1 いはしみづ^{はちまんぐう}八幡宮

2 かたへの人にあひて

3 ことわりをあらはす。

4 つひには、滅びぬ。

5 片雲^{かたぐも}の風にさそはれて

6 蜘蛛^{くも}の古巣をはらひて

7 海浜^{かいびん}にさすらへて

8 笠^{かさ}の緒^お付けかへて

9 いづれの年よりか

10 にぎる

1	いわしみず
2	かたえの ひとにあいて
3	あらわす
4	ついには
5	さそわれて
6	はらいて
7	さすらえて
8	つけかえて
9	いづれ
10	にぎえ

歴史的かなづかい④ 答え

く入試問題に挑戦く

【問題】 一線部分の読み方を現代かなづかいで書こう。

- 1 「これはいかに。」といひける。
- 2 近くの寺にまうでたり。
- 3 小刀にて、切りまはしつつ張る。
- 4 その山のシカはゆふべより夜に入れば…
- 5 秋は紅葉がおほく、流れゆく。
- 6 それぞれの人のあぢわひがあるなり。
- 7 言葉をすくなうして交流すときは…
- 8 この道具をつかひつつ、世を渡るべし。
- 9 これを聞きていはく、「…いかにも。」
- 10 温かなるゆえ、雪の消ゆるところあり。

1 いいける (言う)

2 もうで (参る)

3 まわし (回す)

4 ゆうべ (夕べ)

5 おおく (多く)

6 あぢわい (味)

7 すくのう (少量)

8 つかい (使う)

9 いわく (言う)

10 ゆえ (理由)